



2025年12月5日

報道関係者各位
プレスリリース

トライシクル株式会社

トライシクル株式会社

豊田通商株式会社とサーキュラーエコノミー実現に向けた業務提携の締結

サイ클ーズグループのトライシクル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 CEO 山田 晃一、以下、「当社」）と豊田通商株式会社（本社：名古屋市市中村区、代表取締役 今井斗志光、以下、「豊田通商」）は、リユース事業の取組の拡大に向け12月1日付けで業務提携を締結しました。

本提携により両社は、企業の不要資産とそれを必要とする企業をつなぐリユースマッチングプラットフォーム「ReSACO（リサコ）」を活用し、リユース事業の拡大や新たな循環型ビジネスモデルの共同開発を推進してまいります。

■ 背景・取り組み：マルチバリュー循環が求められる時代へ

サイ클ーズグループでは、製品には使用時に発揮される機能価値だけでなく、使用後にも部品・素材価値、ブランド価値等の多様な価値が残存すると考えており、カーボンニュートラルの実現に向けては、「捨てる」のではなく、価値を繋げる＝「再活用する」仕組みづくりが不可欠であると考えております。この物・価値を捨てることなく、活用する仕組み（「マルチバリュー循環」）がサーキュラーエコノミーの実現に不可欠であると考え、企業間リユースを軸にした新たな市場創出を目指してまいります。

豊田通商は「未来の子供たちにより良い地球を届ける」というミッションを掲げ、豊田通商ならではの環境戦略を掲げています。サーキュラーエコノミーのリーディングプロバイダーを目指す該社との提携を通じて、企業間リユース市場の規模拡大を目指し、そこから生まれる多様な価値＝製品、部品、リサイクル素材を再び国内外企業、市場に循環させるビジネスモデルを追求してまいります。

■ 企業間リユースマッチングプラットフォーム「ReSACO（リサコ）」について

当社は、企業間リユースマッチングプラットフォーム「ReSACO（リサコ）」を2019年より開発を行い、循環型社会の実現に寄与するビジネスモデルの創出・普及を目指してまいりました。

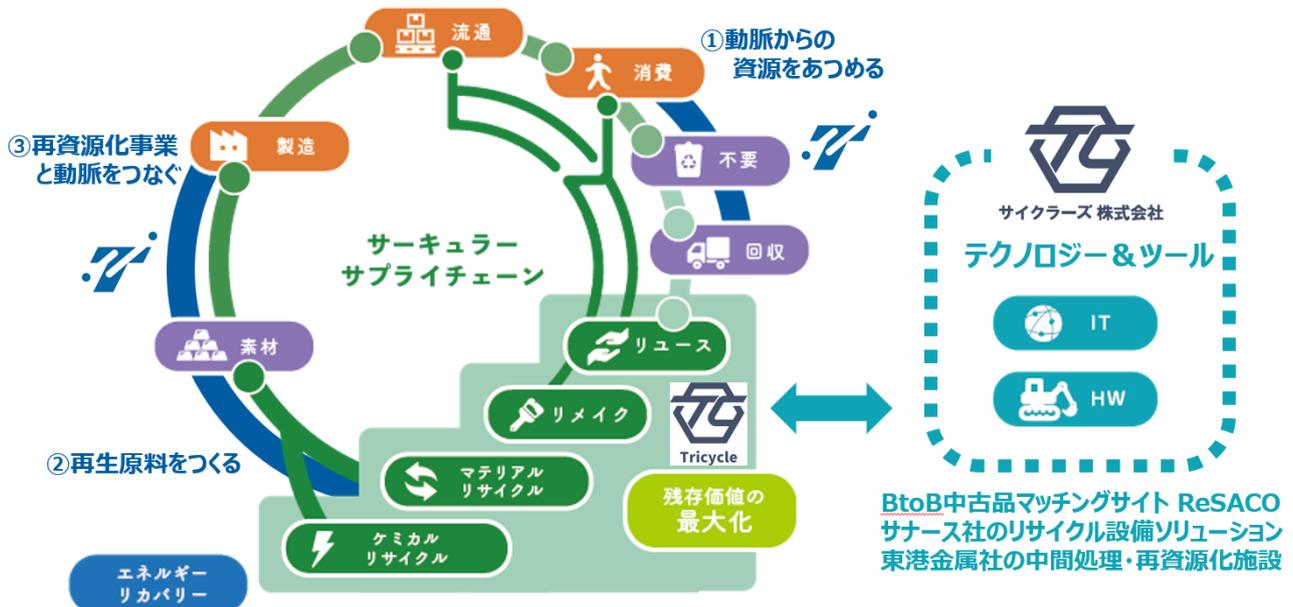
また、企業間リユースマッチングプラットフォーム「ReSACO（リサコ）」は2024年には東京都資源循環DX推進事業に採択されており、直近では、株式会社FGLサーキュラー・ネットワークと実証実験を実施しております。

<https://resaco-ce.com/>



Tricycle

既存のサーキュラーサプライチェーンを両社の協業で強く太くしていく



【会社概要】

法人名 : 豊田通商株式会社 (<https://www.toyota-tsusho.com/>)

所在地 : 名古屋本社/〒450-8575 名古屋市中村区名駅四丁目 9 番 8 号 (センチュリー豊田ビル)
東京本社/〒108-8208 東京都港区港南二丁目 3 番 13 号 (品川フロントビル)

設立 : 1948 年 7 月

資本金 : 649 億 3 千 6 百万円

代表者 : 代表取締役 今井 斗志光

事業内容 : 各種物品の国内取引、輸出入取引、外国間取引、建設工事請負、各種保険代理業務 等

会社名 : トライシクル株式会社 (<https://tricycle-ce.com/>)

所在地 : 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D 館 8F

設立 : 2018 年 5 月

資本金 : 1,000 万円

代表者 : 代表取締役 山田 晃一

事業内容 : 不用品を最適な方法・価格で提供するプラットフォーム (ReSACO)、産廃・建廃の委託契約を電子化するサービス (EcoDraft) の提供、中古品やリサイクル製品の販売他

本件に関するお問い合わせ先

サイ클ーズグループ 広報担当

TEL: 03-6410-8797 Email: media@cyclers.co.jp